



2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
 コード番号 2654 URL http://www.asmo1.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 岡田 夏至 (TEL) 03-6911-0550
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	9,867	4.5	147	△53.5	195	△42.9	89	△57.4
2022年3月期第2四半期	9,445	1.2	316	△21.3	341	△18.2	209	△20.9

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 135百万円(△38.1%) 2022年3月期第2四半期 218百万円(△0.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	6.62	—
2022年3月期第2四半期	15.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	8,930	6,225	69.1
2022年3月期	8,645	6,226	71.6

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 6,169百万円 2022年3月期 6,187百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	0.00	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	18,900	0.3	255	△52.4	340	△43.7	222	△36.2	16.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

2023年3月期2Q	15,145,175株	2022年3月期	15,145,175株
2023年3月期2Q	1,680,613株	2022年3月期	1,680,613株
2023年3月期2Q	13,464,561株	2022年3月期2Q	13,805,551株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 12
(追加情報)	P. 12
(セグメント関係)	P. 13
(収益認識関係)	P. 15

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における国内外の経済は、ウクライナ情勢の長期化等による継続的な原材料価格、エネルギー価格の上昇を抑えるために各国がとった金融引き締め政策により急激な円安が進むとともに、生活に欠かすことができない財やサービスの価格上昇が続いており、景気減速の懸念が強まっています。また、国内では新型コロナウイルス感染症による行動制限は緩和されましたが、感染への警戒が緩んだわけではなく、景気の悪化と物価高が同時に進行する中、個人消費を中心に停滞感が強まりました。

このような状況の下、当社グループの状況につきましては、世界的な脱コロナへの動きを受け需要を取り込んだアスモレーディング事業、及び香港における外食需要の回復により来客数が増加したASMO CATERING (HK) 事業では好調に推移いたしました。一方、感染リスクが高い高齢者向けの事業を行っているアスモフードサービス事業とアスモ介護サービス事業においては、主なサービス提供先である高齢者施設の入居率や介護サービス利用者数の回復に時間を要しており、引き続き慎重な事業運営が求められています。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高9,867百万円（前年同四半期比4.5%増）、営業利益147百万円（前年同四半期比53.5%減）、経常利益195百万円（前年同四半期比42.9%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、89百万円（前年同四半期比57.4%減）となりました。

売上高の増加は、アスモレーディング事業、及びASMO CATERING (HK) 事業におけるコロナ禍で低迷していた業績の回復によるものであります。営業利益、経常利益の減少は原材料費の上昇と円安基調の影響を受けたアスモレーディング事業における売上原価率の上昇とアスモフードサービス事業における人件費、光熱費の増加、及びアスモ介護サービス事業における利用者の減少と新規施設開設に伴う費用の発生によるものであります。今後におきましては、コロナ禍前の水準への業績回復に向け、グループ一丸となって邁進してまいります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモレーディング事業 (株式会社アスモレーディング)	食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス首都圏) (株式会社アスモフードサービス東日本) (株式会社アスモフードサービス中日本) (株式会社アスモフードサービス西日本)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営、食品加工販売
その他 (ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED)	台湾における外食店舗の運営 ※事業を休止中

① アスモレーディング事業

アスモレーディング事業におきましては、国内で新型コロナウイルス感染症が7、8月に再拡大した際、移動制限措置の発動等に伴う個人消費等への影響が懸念されたものの、特段の措置はなく夏季の外食需要が高まり、外食業界に対して、当社の主力であるメキシコ産牛肉を中心に販売が増加いたしました。特に、アメリカやオーストラリア等の輸入牛肉の価格が高騰している状況において、当社では、メキシコ産牛肉を現地から安定的に購入できる強みや価格面での優位性を活かし、新規並びに既存の顧客への売上高を伸ばしております。また、国内通販事業部門においても安定的な販売が続く、前年同四半期を上回る実績となりましたが、一方で、原油価格の高騰による物流費の高止まりや保管料の上昇に加え、円安の影響により、営業利益は前年同期比で微増に留まりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,165百万円（前年同四半期比36.2%増）、セグメント利益（営業利益）は51百万円（前年同四半期比1.4%増）となりました。

今後におきましては、円安基調の継続が懸念されますが、外食産業の回復に伴い食肉需要もコロナ禍以前の状態に戻ると見込まれることから、年末需要期に向けた各取引先への営業の強化、ならびに新規開拓によりさらなる業績の向上を目指してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、主要マーケットが高齢者施設利用者様向けの給食提供であり、未だ新型コロナウイルス感染症への警戒感が残る高齢者向けサービス業界において、高齢者施設の入居率や介護サービス利用者数が新型コロナウイルス感染症蔓延前の水準まで回復しておらず、足元が不透明な厳しい状況で推移いたしました。また、原材料費や物流費、光熱費の高騰に加え、人件費の負担が利益を圧迫いたしました。

そのような中で、当事業では、給食提供を行う現場従業員に対する食材・資材コストの管理意識を高めるべく、会議や研修を通じた積極的な意見交換や、食数管理システムを用いてリアルタイムに食材費、原価率を確認することを習慣化し、給食提供食数の予定数量を算出した上で、適正な発注食材数量や在庫数量を随時追求してまいりました。また、使用する食材に関して、生野菜から冷凍野菜への移行、総合食品メーカーからの仕入取引を推進するなどの方策により原価を抑えつつ、給食提供先に対する提供単価や内容についての交渉を行うなどの対策を講じることによって利益への影響を抑えてまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、3,742百万円（前年同四半期比1.3%減）、セグメント利益（営業利益）は104百万円（前年同四半期比50.0%減）となりました。

引き続き、原価管理の徹底に加え、受託施設を増やすべく営業活動に取り組むことで収益力の回復に努めてまいります。

③ アスモ介護サービス事業

介護業界全体としては、恒常的な人手不足と、それに伴う人件費の上昇に加え、長期化する新型コロナウイルス感染症の影響によるご利用者様数の減少で、足元・先行きとも厳しい状況にあります。そのような状況の中、サービス提供先でも複数の施設においてご利用者様やスタッフの感染により一時的にサービスの提供が減少する事象があり、売上、利益ともに厳しい結果となりました。

これにより当第2四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所36事業所（前年同四半期末は37事業所）、居宅介護支援事業所12事業所（前年同四半期末は12事業所）で支援させていただいておりますご利用者様（※）は1,884名（前年同四半期末は1,944名）となりました。また、有料老人ホーム7施設（前年同四半期末は6施設）のご入居者様は321名（前年同四半期末は308名）となりました。（※）介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、2,768百万円（前年同四半期比5.0%減）、セグメント利益（営業利益）は75百万円（前年同四半期比52.5%減）となりました。

今後におきましては、新型コロナウイルス感染症の影響で自重していました新規入居者様獲得に向けて積極的な促進活動を行いながら、介護需要を取り込むことに注力してまいります。また、5月に開設いたしました自社運営施設（ベストライフ橋学園）の速やかな収益化を図るとともに、職員の定着率向上に向けた取り組みと積極的な新規採用により十分な職員数を確保していることを強みとして、コロナ後の需要をしっかりと取り込むことで業績の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

香港では、新型コロナウイルス感染症に対するディナータイムの営業禁止など、最も強い措置を含む各規制は緩和されたものの、新型コロナウイルスワクチン接種者のみ商業・娯楽施設などの利用を認める「ワクチンパス（第3段階）」制度が厳格に運用されており、主要国の情勢と比較しても、新型コロナウイルス感染症への対応が依然として求められている状況にあります。

そのような状況の中、ASMO CATERING HK事業におきましては、こまめな価格改定・メニュー内容の見直しや値上げを実施し、回復しつつある外食需要への対応を進めてまいりました。また、前連結会計年度にISO22000（食品安全）を認証取得した食品加工販売部門では新規顧客の獲得だけでなく、既存顧客である日系レストラン事業を営む各社からの受注が増加いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は、1,188百万円（前年同四半期比28.4%増）、セグメント利益（営業利益）は21百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

インバウンド消費への依存度が高い香港の小売・飲食業において、9月より入境時の指定ホテルでの隔離が不要となったことで、町には徐々に人出が戻りつつあります。大きな需要が見込める中国からの入境が完全に再開されるまでには時間を要すると思われませんが、状況を見極めつつアフターコロナの需要を取り込めるよう準備してまいります。また、業績が安定して推移している食品加工販売部門では、取扱品目を充実させることにより、さらなる取引先の拡大に繋げ、収益力を強化してまいります。

⑤ その他の事業

その他セグメントに含めておりましたサーバントラスト信託株式会社につきましては、基幹事業分野への経営資源の集中を図ることを目的として当社が保有する全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

また、その他セグメントに含まれておりますASMO CARTERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは2019年3月を期末とする連結会計年度以降、事業を休止しております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間のセグメント損失（営業損失）は0百万円（前年同四半期はセグメント利益0百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の分析

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は8,930百万円となり、前連結会計年度末に比べ284百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が527百万円、受取手形及び売掛金が51百万円、商品が84百万円増加し、未収入金が328百万円、差入保証金が22百万円減少し、貸倒引当金が25百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は2,705百万円となり、前連結会計年度末に比べ286百万円増加いたしました。これは主に、支払手形及び買掛金が55百万円、短期借入金が104百万円、未払法人税等が103百万円、賞与引当金が35百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は6,225百万円となり、前連結会計年度末に比べ1百万円減少いたしました。これは主に利益剰余金が45百万円減少し、為替換算調整勘定が25百万円、非支配株主持分が17百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は69.1%（前連結会計年度末は71.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は5,075百万円となり、前年同四半期末に比べて340百万円の増加となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりです。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは497百万円の収入となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益221百万円や減価償却費41百万円に加えて、売上債権の減少による収入126百万円、その他の資産の減少による収入303百万円、その他の負債の減少による支出113百万円、法人税等の支払額114百万円および法人税等の還付額43百万円などによるものであります。

また、前第2四半期連結累計期間に比べてキャッシュ・イン・フローが218百万円増加した主な要因として、税金等調整前当期純利益は120百万円減少したものの、売上債権の増減による収入が151百万円増加し、その他の資産の増減による収入が151百万円増加したことなどが挙げられます。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは30百万円の収入となりました。これは主に貸付けによる支出51百万円、貸付金の回収による収入25百万円、建設協力金の回収による収入8百万円、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入48百万円などによるものであります。

また、前第2四半期連結累計期間に比べてキャッシュ・イン・フローが17百万円減少している主な要因として、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入が48百万円増加したものの、差入保証金の差入・回収差による収入が56百万円減少したことなどが挙げられます。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは34百万円の支出となりました。これは主に短期借入れによる収入104百万円、配当金の支払額115百万円などによるものです。

また、前第2四半期連結累計期間に比べてキャッシュ・アウト・フローが268百万円減少している主な要因として、短期借入れによる収入が98百万円増加したこと、また自己株式の取得による支出が162百万円減少したことなどが挙げられます。

以上のとおり、当社グループの当第2四半期連結累計期間の資金状況は、営業活動によるキャッシュ・フロー収入と投資活動によるキャッシュ・フロー収入を合わせた、いわゆるフリー・キャッシュ・フローが528百万円の収入であることから、財務活動によるキャッシュ・フローにおける配当金支払やリース債務の返済を十分にカバーできる水準となっております。

資本の財源につきまして、当社グループの運転資金・設備投資資金は期中の一時的な子会社の借入やリース債務を除き、自己資金により充当しております。当第2四半期連結会計期間末の有利子負債残高はリース債務147百万円および短期借入金120百万円のみであります。リース債務は順調な返済により前連結会計年度末と比較して23百万円減少しております。短期借入金は104百万円増加しておりますが、これはアスモトレーディング事業において主力商品であるメキシコ産牛肉の販売が着実に増えてきており、特に需要期において予定以上の購買が必要になった際、資金繰りのために購買を控え販売機会損失を起ささないよう、当座貸越枠を新たに設けて借入を行ったことによるものであります。

資金の流動性につきましても、現金及び現金同等物の当第2四半期連結会計期間末残高が5,075百万円であることから、十分な資金を確保できており、小規模なM&Aや隣接事業への拡大についても対応できる水準であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点における通期の連結業績予想及び配当予想は、2022年11月8日に公表いたしました予想に変更はありませんが、日本経済及び世界経済に多大な影響を与えている新型コロナウイルス感染症の動向によっては、経済状況や事業環境の変化等様々な要因により業績が予想と異なる可能性があります。なお、新型コロナウイルス感染症の業績への影響については、可能な限り上記の業績見通しに織り込んでおりますが、今後の動向の変化に応じて適時に開示してまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,617,956	5,145,820
受取手形及び売掛金	1,929,608	1,981,229
商品	284,667	368,842
貯蔵品	12,878	12,720
その他	636,929	303,847
貸倒引当金	△1,271	△769
流動資産合計	7,480,768	7,811,689
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	197,674	174,697
有形固定資産合計	197,674	174,697
無形固定資産		
その他	19,716	15,442
無形固定資産合計	19,716	15,442
投資その他の資産		
その他	1,445,812	1,453,518
貸倒引当金	△498,319	△524,724
投資その他の資産合計	947,493	928,793
固定資産合計	1,164,884	1,118,933
資産合計	8,645,652	8,930,623

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	531,571	586,715
短期借入金	16,840	120,970
未払法人税等	37,248	140,357
賞与引当金	216,930	252,525
その他	1,261,098	1,263,572
流動負債合計	2,063,689	2,364,142
固定負債		
退職給付に係る負債	232,052	242,968
その他	123,722	98,495
固定負債合計	355,775	341,464
負債合計	2,419,464	2,705,606
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	4,080,591	4,035,070
自己株式	△340,870	△340,870
株主資本合計	6,062,993	6,017,473
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	376	630
為替換算調整勘定	126,904	152,400
退職給付に係る調整累計額	△2,415	△1,207
その他の包括利益累計額合計	124,865	151,823
非支配株主持分	38,328	55,720
純資産合計	6,226,188	6,225,016
負債純資産合計	8,645,652	8,930,623

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	9,445,410	9,867,294
売上原価	7,595,855	8,083,943
売上総利益	1,849,555	1,783,351
販売費及び一般管理費	1,533,150	1,636,301
営業利益	316,404	147,050
営業外収益		
受取利息	3,346	3,855
為替差益	1,808	31,834
助成金収入	17,739	18,453
その他	5,269	2,770
営業外収益合計	28,163	56,913
営業外費用		
支払利息	1,993	1,711
貸倒引当金繰入額	48	7,224
その他	826	21
営業外費用合計	2,868	8,957
経常利益	341,699	195,005
特別利益		
関係会社株式売却益	—	26,266
特別利益合計	—	26,266
特別損失		
固定資産除却損	—	0
特別損失合計	—	0
税金等調整前四半期純利益	341,699	221,271
法人税、住民税及び事業税	61,516	130,733
法人税等調整額	69,467	△10,821
法人税等合計	130,984	119,912
四半期純利益	210,715	101,359
非支配株主に帰属する四半期純利益	1,482	12,234
親会社株主に帰属する四半期純利益	209,232	89,124

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	210,715	101,359
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	158	254
為替換算調整勘定	2,572	32,478
退職給付に係る調整額	5,119	1,207
その他の包括利益合計	7,851	33,940
四半期包括利益	218,566	135,300
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	216,530	116,082
非支配株主に係る四半期包括利益	2,035	19,217

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	341,699	221,271
減価償却費	44,470	41,422
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△664	25,879
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	10,545	12,123
賞与引当金の増減額(△は減少)	44,419	33,895
受取利息及び受取配当金	△3,346	△3,855
支払利息	1,993	1,711
為替差損益(△は益)	317	△6,771
有形固定資産除却損	—	0
関係会社株式売却損益(△は益)	—	△26,266
売上債権の増減額(△は増加)	△24,220	126,926
その他の資産の増減額(△は増加)	151,993	303,615
棚卸資産の増減額(△は増加)	△26,960	△73,380
仕入債務の増減額(△は減少)	△7,545	45,781
その他の負債の増減額(△は減少)	△1,789	△113,569
未払消費税等の増減額(△は減少)	△103,670	△19,696
その他	△235	△229
小計	427,005	568,858
利息及び配当金の受取額	543	783
利息の支払額	△1,993	△1,711
法人税等の支払額	△147,348	△114,608
法人税等の還付額	921	43,955
営業活動によるキャッシュ・フロー	279,128	497,277
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△20,477	△7,514
定期預金の預入による支出	△70,024	△70,026
定期預金の払戻による収入	70,023	70,024
差入保証金の差入による支出	△8,208	△34,418
差入保証金の回収による収入	71,238	41,191
貸付けによる支出	△2,790	△51,336
貸付金の回収による収入	271	25,333
建設協力金の回収による収入	7,898	8,763
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	—	48,875
投資活動によるキャッシュ・フロー	47,931	30,893

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	5,570	104,130
リース債務の返済による支出	△26,611	△23,985
自己株式の取得による支出	△162,359	△0
配当金の支払額	△119,597	△115,103
財務活動によるキャッシュ・フロー	△302,999	△34,959
現金及び現金同等物に係る換算差額	2,608	34,650
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	26,669	527,862
現金及び現金同等物の期首残高	4,708,552	4,547,931
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,735,221	5,075,794

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結子会社株式の譲渡)

当社は、基幹事業分野への経営資源の集中を図ることを目的として、当社が保有する連結子会社であるサーバントラスト信託株式会社の全株式を株式会社日税不動産情報センターに譲渡することを2022年3月31日付の取締役会において決議し、2022年5月27日付で譲渡いたしました。本株式譲渡に伴い、第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として、当該会社を連結の範囲から除外しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK)事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	2,389	1,589,783	3,790,039	2,915,403	925,713	9,223,328
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	24,371	121,343	—	—	145,715
計	2,389	1,614,155	3,911,383	2,915,403	925,713	9,369,044
セグメント利益又は損失(△)	△102,620	50,403	208,946	158,648	437	315,816

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	222,081	9,445,410	—	9,445,410
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	145,715	△145,715	—
計	222,081	9,591,126	△145,715	9,445,410
セグメント利益又は損失(△)	676	316,492	△88	316,404

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理型信託事業および少額短期保険事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	315,816
「その他」の区分の利益	676
セグメント間取引消去	△88
四半期連結損益計算書の営業利益	316,404

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
売上高						
外部顧客への売上高	2,389	2,165,196	3,742,506	2,768,450	1,188,751	9,867,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	28,633	124,729	—	—	153,363
計	2,389	2,193,829	3,867,236	2,768,450	1,188,751	10,020,658
セグメント利益又は損失(△)	△104,983	51,112	104,388	75,339	21,331	147,187

(単位:千円)

	その他 (注)1、2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	9,867,294	—	9,867,294
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	153,363	△153,363	—
計	—	10,020,658	△153,363	9,867,294
セグメント利益又は損失(△)	△153	147,034	15	147,050

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING (TAIWAN)事業)であり、現在当該事業を休止しております。

(注) 2 「その他」を形成していた連結子会社サーバントラスト信託株式会社の管理型信託事業について、当社が保有する同社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	147,187
「その他」の区分の損失(△)	△153
セグメント間取引消去	15
四半期連結損益計算書の営業利益	147,050

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社の売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2021年4月1日 至 2021年9月30日）

(単位：千円)

	報告セグメント					計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	1,360,061	—	—	—	1,360,061
加工商品の販売	—	229,721	—	—	—	229,721
給食提供サービス	—	—	3,790,039	—	—	3,790,039
介護サービス	—	—	—	2,492,867	—	2,492,867
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	192,434	—	192,434
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	632,567	632,567
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	275,518	275,518
その他	—	—	—	57,973	17,627	75,600
顧客との契約から生じる収益	—	1,589,783	3,790,039	2,743,275	925,713	9,048,811
その他の収益	2,389	—	—	172,128	—	174,517
外部顧客への売上高	2,389	1,589,783	3,790,039	2,915,403	925,713	9,223,328

	その他 (注)	合計
食肉販売	—	1,360,061
加工商品の販売	—	229,721
給食提供サービス	—	3,790,039
介護サービス	—	2,492,867
運営する介護施設でのサービス	—	192,434
飲食店舗（香港）	—	632,567
食品加工販売（香港）	—	275,518
その他	13,195	88,795
顧客との契約から生じる収益	13,195	9,062,006
その他の収益	208,886	383,403
外部顧客への売上高	222,081	9,445,410

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、管理型信託事業および少額短期保険事業を含んでおります。

当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
食肉販売	—	1,953,436	—	—	—	1,956,436
加工商品の販売	—	211,760	—	—	—	211,760
給食提供サービス	—	—	3,742,506	—	—	3,742,506
介護サービス	—	—	—	2,344,857	—	2,344,857
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	180,536	—	180,536
飲食店舗(香港)	—	—	—	—	778,168	778,168
食品加工販売(香港)	—	—	—	—	387,602	387,602
その他	—	—	—	73,719	22,980	96,700
顧客との契約から生じる収益	—	2,165,196	3,742,506	2,599,113	1,188,751	9,695,568
その他の収益	2,389	—	—	169,337	—	171,726
外部顧客への売上高	2,389	2,165,196	3,742,506	2,768,450	1,188,751	9,867,294

	その他(注)	合計
食肉販売	—	1,956,436
加工商品の販売	—	211,760
給食提供サービス	—	3,742,506
介護サービス	—	2,344,857
運営する介護施設でのサービス	—	180,536
飲食店舗(香港)	—	778,168
食品加工販売(香港)	—	387,602
その他	—	96,700
顧客との契約から生じる収益	—	9,695,568
その他の収益	—	171,726
外部顧客への売上高	—	9,867,294

(注) 「その他」の区分では、当該区分に含まれる各事業セグメントにおける以下の要因により、当第2四半期連結累計期間での売上高が生じておりません。

- ・少額短期保険事業：アスモ少額短期保険株式会社の全株式を2022年3月30日付で譲渡したことに伴い、前連結会計年度末において連結の範囲から除外しております。
- ・管理型信託事業：サーバントラスト信託株式会社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。
- ・ASMO CATERING (TAIWAN) 事業：現在当該事業を休止しております。